

一応供覧	文書 分類		保存 年限	1 3 5 10 永
議長 	局長 	書記 	主任	担当

山

1 号様式

令和 8 年 7 月 6 日

津南町議会議長 風巻 光明 様

議席番号 6 番

議会議員 筒井秀樹



一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和 8 年 7 月 22 日開会の第 2 回定例会に下記のとおり一般質問をしたいので、津南町議会会議規則第 61 条第 2 項の規定により通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
庁舎内ネットワーク整備に伴う窓口対応・働き方の刷新と、災害対策および議会 D X を見据えた今後の運用体制について	① 新ネットワークを活かした「窓口当番制」の導入と町民サービス向上について 来庁者を迷わせないための、各課内持ち回りによる窓口初期対応（当番制）の導入。窓口カウンターでも仕事ができる環境整備は可能か。 あわせて、集中作業に専念できる等、空いている会議室等でも通常業務を継続できるフリーアドレス的な Wi-Fi 環境およびセキュリティの整備は可能か。 ② 災害時における庁舎内ネットワークの「冗長化（二重化）」と業務継続計画の連動性について 災害時やサイバー攻撃は隔離された環境なのでリスクは少ないと思うが、故障等による通信遮断を防ぐための、メインサ	町長



	サーバーからバックアップサーバーへの自動切り替えシステムはあるか。 停電対策の状況、および重要通信を優先させる制御機能と、災害時の避難所等との情報共有訓練の実施予定はあるか。 ③ 将来的な「議会D X」への拡張性と、専門人材不足を見据えた保守・運用体制について 将来的な議会D X（議員のタブレット利用等）の導入時に、無駄な二重投資が発生しないための設計上の配慮と、執行部（情報政策部門）から議会事務局への技術支援体制のお考えはあるか。 通信障害発生時における外部専門業者の駆けつけ体制（SLA）と、庁内でのデジタル人材育成、長期的な財政負担の抑制について。これが成功事例となれば、行政側のアナログ的な対応、議案の差し替えや、議案の配達等の業務改善につながると考えるがどうか。	
「ちょうどいい田舎」を維持するための町内事業者支援について	人口減少に伴う町内事業者の減少危機に対する、町の現状認識と今後の支援方針はあるか。 外食産業をはじめ、生活インフラとしての商業・サービス業を維持し、「いつでも帰って来られる持続可能な地域」をつくるための具体的な事業者存続施策について、お考えはあるか。	

※質問項目が変わる場合は罫線で分割してください。